

令和4年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年9月15日（木曜日）		開会	9:54		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	10:56					
委員の出欠		1 番	宮越 正人	出席	5 番	外山 浩司	出席	9 番	今西 和雄	出席
		11 番	瀧川 榮子	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼福祉課長		
		今野 健一	出席	小湊 昌博	欠席	入倉 伸顕	出席	干場みゆき	出席	
		介護支援課長		町民課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長		
		高橋 勇樹	出席	皆川 学	出席	渡辺 久利	出席	堀 留美	欠席	
		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課主幹		保健課主幹		
		九里 富恵	欠席	大道 詳子	欠席	西田 和弘	欠席	齊藤 晴美	出席	
		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		福祉課主査		
		畠澤 みどり	欠席	根本 博美	欠席	澤田 憲一	欠席	大森 晴海	出席	
		介護支援課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査		
		岩口 真紀子	欠席	松本 静香	欠席	井川 仁	欠席	奈良 司	欠席	
		町民課主査		町民課主査		保健課主査		保健課主査		
		竹本 誠	欠席	木幡 友哉	欠席	阿部 妃江子	欠席	能登 麻奈美	欠席	
		保健課主査		母子健康センター主査		老人保健施設主査				
		佐伯 祐司	欠席	成瀬 広子	欠席	中田 幸規	欠席			
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課長		病院事務課主幹		
		三戸 俊人	出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	出席	大森 圭介	出席	
委員外の出席		議長	西原 浩			合計		1名		
事務局職員		事務局長	干場 富夫	主任		小野 絵里		合計 2名		
傍聴者数		一般	0名	報道関係者		0名		合計 0名		

令和4年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 今西	9:54 開会
	出席委員5名、委員外1名、会期1日
委員長 9番 今西	挨拶
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶
委員長 9番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナウイルス感染症対策について
病院事務長 三戸	・7月に入り、オミクロン株の中でも感染力が非常に強いとされているBA.5を中心とする感染が全国的に急速に感染が拡大し、各地で新規陽性者が過去最高を記録した。別海町においても同様に7月以降急激に陽性者が増加し、北海道の病床ステージも8月から再び2へ引き上げられ、別海病院においても8月22日から分娩を休止し、コロナ病床を7床確保しているところ。 ・特徴として、何度もお伝えしているとおり、非常に感染力が強く、家庭内感染が多く見られ、家族全員が感染する確率が非常に高かった。その反面、重症患者が少ない。 ・7月の入院患者数は延べ6名。他院への入院は3名となっている。大部分の方が患者は自宅療養となっている。 ・本町では、年明け1月に感染者が判明して以降、昨日9月14日までに延べ1,245名（町外在住者含む）の感染者となっている。また、定例会でもお知らせしたとおり、8月15日には過去最高となる1日に39名の陽性者が確認された。別海病院においても、5月以降クラスターには至っていないものの、7・8月の2カ月間で陽性者が700人を超え、医師・看護師・検査技師等の勤務状況が非常に厳しいものとなった。 ・幸いなことに、9月に入り感染者は減少傾向に転じている状況であるが、引き続き別海病院においても、感染者の治療と感染拡大の抑制、関係機関と連携しながら対応を続けていく。
委員長 9番 今西	質疑
副委員長 5番 外山	・7-8月で多数の患者が出たとのことだが、感染拡大の原因の分析はされているか。 ・非常に感染者が多くなり、分析は難しくなったというのが現状。6月定例会中の委員会の時点では町内での感染者は0人になる程であった。7月に入り、当初は札幌等へ行かれた方が感染し、その後家庭・職場に広がる傾向が明確に見て取れたが、7月中旬から急激に感染拡大したため、発生元がわからない状況で、家庭、職場、学校関係で広がりを見せた。感染者が多くなると、発生源がどこかということがつかみ難い状況となった。 ・急激な感染者増の中、医療従事者の方にはフル稼働で頑張っていただいた。その対に感謝する声も届いている。職員は疲弊していないか。 ・7-8月に入り感染者が多かったというもあるが、ここ2年この状況が続いている。昨年の同じ時期では、重症化率が高かったものの、感染者は少なかったため、平日・土日まで検査体制を引くことはなかったというのが今年と昨年の違い。正直言っていつまで続くのかというのがスタッフ誰もが思っているところかなと思う。また、2年この状況が続いている中で、コロナ対応もしながら通常の外来診療体制をできるだけ維持してきたというのは、スタッフの努力が大きいところかなと思う。これは国の方針もあるので何とも言えないが、病院としては今盛んに話が出ている、もう少し明確な検査の実施であるとか、療養期間は短くなりましたが、インフルエンザとかそういったものと同等になれば、少し病院の体制も変わるのかなと考えているが、あくまでも国の指針に沿い動かざるを得ないというのが現状であるのかなと思う。
病院事務長 三戸	
委員 1番 宮越	
病院事務長 三戸	

令和4年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

議長	西原	・7-8月と陽性者が多くなり、電話の問い合わせも通常の何倍もあったと思う。病院への電話がつながりにくいとの話をよく耳にした。つながった時は丁寧に対応してもらえるので、1人に対応する時間が長いのかなという感じも受けた。それを改善するために人を増やしたり、簡略化するなど取り組んでいることは。また、実際にどのように対応しているのか。
病院事務長	三戸	
議長	西原	・議長おっしゃれるとおり、患者さんに迷惑をかけた部分があると思う。発熱外来の専用電話回線が1回線のみであり、スタッフも限られている。電話での聞き取りを丁寧に行うことによって時間がかかってしまうデメリットはあるが、電話でほぼ問診できているので病院へ到着してから対応時間は短くなっている。どちらが良いのかというのは何とも言えないところ。医師・看護師も限られた人数で運営しているため、他の診療との兼ね合いもあったり、スタッフが感染するということもあり、スタッフの不足という部分も確かにあった。電話対応については1回線に加え、看護部管理職の携帯等で対応し、以前と比べると町民の方の不便は少し解消されたと思うが、ピーク時には発熱外来を受診する方が非常に多く、つながりづらい状況があり、ご迷惑をかけたと認識している。
病院事務長	三戸	
委員長	9番 今西	・回線は1回線だけでも、電話を携帯に転送できる仕組みに変えたということか。それともたまたま個人的に知人である方にかけたということか。
病院事務長	三戸	
委員	1番 宮越	・看護部管理職は病院内で使用できるPHSを持っているので、専用回線が埋まっているときは、病院の電話になるのでそれを看護部長等へつないで対応している。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・スタッフが疲弊してる状況など病院の状況は重々伝わってきた。今後委員会として理事者と話していきたい。引き続き対応をよろしくお願いしたい。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・議長から質問のあった件については、コロナかもしれないという不安、体調も悪い中、なかなか電話がつかないということで、病院側としても患者さんに対し申し訳なかったと思っている。7-8月暑い時期でもあったので気の毒をかけた、私だけではなく思っているところである。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・事務スタッフもかなり疲弊していることが見て取れると病院を受診されて方から聞いた。町からの応援部隊を求めるなどの対策は。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・理事者含め管理職の方々からも困った時は声をかけてと言っているが、事務所自体が広くないことや、電話対応もマニュアル・指導があれば対応ができるのかもしれないが、異動した職員の最初の壁になるほど役場とは全く違う。今回、感染者が急激に増えたためその対応に追われ、そこまで具体的に詰めて対応ができなかったというのが現状。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・もう解決しているかもしれないが、発熱外来のプレハブについて、以前受診した方からクモの巣がはっていて掃除がされてないのではという話があったので改善してほしい。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・それについては改善したい。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・日程表に記載の所管事務は継続調査とする。
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・異議なし
病院事務長	三戸	
委員	11番 瀧川	・一般会計補正予算、介護職員確保対策事業の減額1,065千円について、奨学金の給付を受ける方がいるというのは委員会でもお聞きし、町長の先日答弁されていたところだが、尾岱沼の施設2023年1月にオープンする中で、初任者研修をリモートで開催す
病院事務長	三戸	

病院 10:17 終了 休憩

10:24 再開

挨拶

【福祉部所管事務調査】

挨拶

・今定例会に上程している議案について、質疑があればお答えする。

質疑

令和4年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

介護支援課長 高橋	
	考えはないのか。 ・研修会については、当初15名を予定していたが、実際受講者が7名であったため減額補正した。コロナ禍であるため、現状、実技の一部などをリモートで実施している。全てをリモートにするのはなかなか難しいが、接触する場面が多い時にはリモートを活用しているところではある。今後についてもリモートを活用することを視野に進めていきたい。
委員 11番 瀧川	・リモートで開催していく可能性もあるとして認識していいか。
介護支援課長 高橋	・先ほども申したとおり、全てをリモートにするのは難しいところであり、受講者側がリモートに対応できる環境があるかということも確認する必要があるので、その辺りも踏まえて、リモートでの実施を考えていく。
保健センター長 入倉	議事1 所管事務調査について (1)新型コロナウイルス感染症について
	・資料により説明 接種状況について（9月11日現在） ※カッコ内は前回報告値との比較 1回目接種 12,559人 92.8%（+ 23人 + 0.2%） 2回目接種 12,509人 92.4%（+ 22人 + 0.2%） 3回目接種 10,574人 78.1%（+ 77人 + 0.6%） 4回目接種 65歳以上 3,098人 70.8%（+ 1,559人 + 35.6%） 60～64歳 469人 45.2%（+ 364人 + 35.1%） 59歳以下 598人（+ 403人） ※59歳以下は基礎疾患を有する方・医療従事者等が対象 ※60歳以上の接種率 町 65.9%、道62.5%、全国64.3%（道、全国は9/12時点の接種率） 【小児接種】 1回目接種 457人 52.5%（+ 4人 + 0.5%） 2回目接種 440人 50.5%（+ 15人 + 1.7%） ※全国の小児接種の接種率 1回目 22.1%、2回目 20.6% オミクロン株対応のワクチン接種については、明日、厚労省の自治体説明会があり、そこでより具体的な方向性が示される予定。
委員長 9番 今西	質疑
委員 1番 宮越	・自分は感染しなかったものの2回濃厚接触者となったが、その時に中標津保健所へスケジュールなどの確認のため連絡したところ、役場に相談してくれという対応をされた。実際、7-8月の感染拡大の時に、福祉部にはどの程度問い合わせなどあったか。
福祉部長 今野	・福祉部に対する問い合わせは数える程度だと思う。それとは別に、検査キット関係の問い合わせはかなりあったので、その対応に追われる場面は多々あったとは承知している。
副委員長 5番 外山	・今回、療養期間が短縮されたが、我々多少の情報はもっているが、町として町民への周知はいつ行うのか。
委員長 9番 今西	10：41 答弁調整のため暫時休憩
福祉部長 今野	10：44 再開
	・町として独自に療養期間に関するお知らせはしていない。町のホームページでは厚生労働省、道のホームページにリンクできるような形でのお知らせはしている。町民に対してホームページ以外で周知しているということはない。
議長 西原	①オミクロン株対応のワクチンが出るが、余った従来のワクチンは廃棄するのか。

令和4年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

保健センター長 入倉	
	②4回目を接種した人は、やはり次回接種まで5カ月空けるのが基本となるのか。 ①オミクロン株対応のワクチンは9月20日以降に、町の方にも少しずつ届く計画になっているが、従来のワクチンについては、まだ初回接種を終えていない方がいますので、その方々から接種希望があれば使用することになる。 ②現時点では、国から5カ月以上間隔を空けるよう指示されているが、報道でもあるよう年末年始には接種が完了できるようにするとの考えがあるようなので、今後接種間隔が短くなる可能性もある。
福祉部長 今野	①ワクチンの廃棄の関係で補足する。次長が説明したとおり、町では余ることのないよう活用していこうと考えているが、今後オミクロン株対応のワクチンに移行していくことで、従来のワクチンを希望しない方も出てくるとも想定される。余った場合、国では回収しないので、廃棄するよう指示が出ている。
議長 西原	・使用期限を過ぎれば廃棄していくということで理解していいか。
福祉部長 今野	・そのようになった場合は廃棄せざるを得ないと考えている。
委員長 9番 今西	・今までの1-4回目のワクチンはつながり持ったものと理解していたが、先ほど4回目接種しなくても、オミクロン株対応ワクチンは接種できるとの話があったので、今回のオミクロン株対応ワクチンはつながりはなく、別枠のワクチン接種と考えていいのか。
福祉部長 今野	・今回のオミクロン対応のワクチンは従来型にも対応する2価ワクチンとなり、2回目まで接種が完了している方は全員接種対象となる。今回はオミクロン株対応ということで、別に接種を開始することになる。
委員長 9番 今西	・1-2回目まで接種していれば、接種の対象になるという理解でいいか。
福祉部長 今野	・おっしゃるとおり。
委員 11番 瀧川	・例えば、4回目まで接種した方対象者はオミクロン株対応のワクチンが5回目となるが、3回目接種した方は、次4回目ということになるのか。
保健センター長 入倉	・今回のオミクロン株対応ワクチンは、2回目まで接種が完了している12歳以上の方が対象となる。例えば、2回目を接種して、5カ月経ってオミクロン株対応ワクチンを接種した場合は3回目という位置づけになる。これまでの接種回数により位置づけが変わる。
委員 11番 瀧川	・4回目接種完了した人は、5カ月経てば接種ということでしょうか。
保健センター長 入倉	・そのとおり。
委員長 9番 今西	①今回も前回までと同様、接種に関する経費は公費対応となるのか。
	②接種体制はこれまでと同様の形となるのか。
福祉部長 今野	①これまでと同様、全額国費での対応となる。 ②現在、病院と協議中。病院の方では、発熱外来受診者の増加やインフルエンザワクチン対応なども重なるなど、様々な状況があるため、それらを踏まえた上で、なるべく今までと同様の体制で進めたいと考えている。
委員長 9番 今西	・日程表に記載の所管事務は継続調査とする。
委員 一同	・異議なし
委員長 9番 今西	閉会挨拶
	10:56 閉会